

大切に保管してください

# N8102-590/594 増設メモリボード 取り扱いの手引き

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品を本体装置へ取付ける際には本体装置に添付の使用上のご注意に記載されている冒頭の内容をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。

また、増設にあたっては、最寄りの保守サービスセンターに依頼することをお勧めします。



## 警告

安全上のご注意を無視する取り扱いを行うと、装置の故障、人体事故、火災・周囲の機器の損傷を引き起こす原因となることがあります。

オプションの取り付け、取り外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外してください。  
故障や感電する恐れがあります。



電源プラグを抜く



感電注意

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



分解禁止



発火注意



感電注意

# NEC

N8102-590/594

増設メモリボード

組み立て・取り扱いの手引き



\*856-129731-505-00 \*

## 構成品

項番	品 名	数量(N8102-)		備 考
		590	594	
1	増設メモリボード取り扱いの手引き	1	1	本書
2	保証書	1	1	
3	4GB DIMM	1	—	
	8GB DIMM	—	1	

## 取り扱い上の注意事項

本製品を箱から取り出した後は、次の注意事項を必ずお守りください。

- ほこりの多い場所や大気中に硫黄の蒸気が発生する場所及び、水などの液体のかかるおそれのある場所に置かないでください。
- 強い磁気が発生させるものの近くに置かないでください。
- メモリの端子部分に触れないでください。
- 本製品を搭載している場合は「メモリミラーリング機能」、「メモリロックステップ機能」および「メモリスペアリング機能」を使用できません。
- N8102-590 4GB増設メモリボードはx4 SDDCに対応しておりません。x4 SDDC機能を利用する場合は、N8102-479/480/481/482/594 4/8/16/32/8GB増設メモリボードを搭載する必要があります。
- 本製品とN8102-483/484/485/486/487/595は混在できません。

## 製品の取り付け／取り外しについて

### 準備確認事項

- (1) 危険防止及び故障防止のため作業を行なう際には、本体装置の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
但し、ホットスワップ（活線挿抜）対象製品の取り付け／取り外し時の電源スイッチのOFFおよび電源プラグのコンセントからの取り外しは除きます。
- (2) 本製品は静電気に弱い電子部品で構成されています。製品の取り付け／取り外しの際は、静電気による製品の故障を防止するため静電気対策用リストストラップなどの装着により静電気を除去してください。  
また、リストストラップを使用する場合は、接地された箇所に接続して使用してください。
- (3) ケーブルの取り扱い  
LANケーブル等のケーブルを接続する場合も床面との摩擦によって静電気が帯電することがあります。  
帯電した状態で入出機器に接続すると機器を破壊することがありますので接続する前には除電キット等を使用して除電することを推奨します。  
注) 静電気除電キットについて  
下記の静電気除電キットについては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。  
品名：LANケーブル除電治具  
型名：SG001 （東京下田工業（株）製）

## 第三者への譲渡

本製品を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本書を一緒にお渡しください。

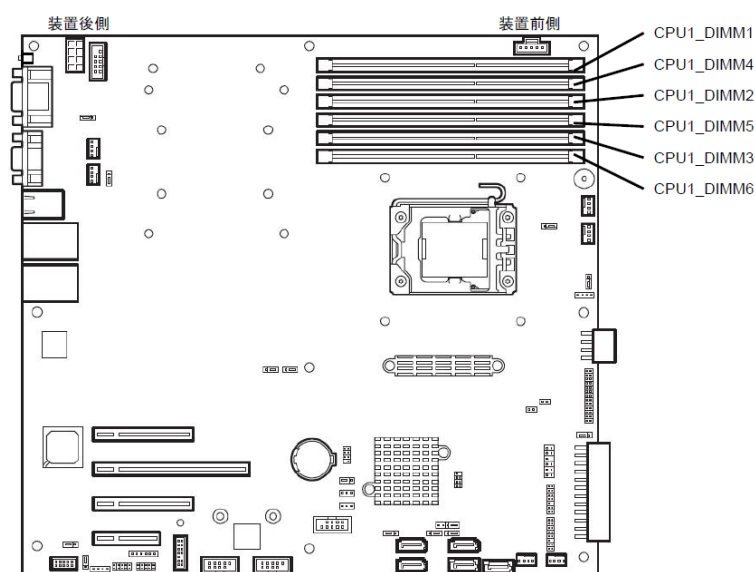
## 増設メモリボードの取り付け

### 1. 準備確認事項

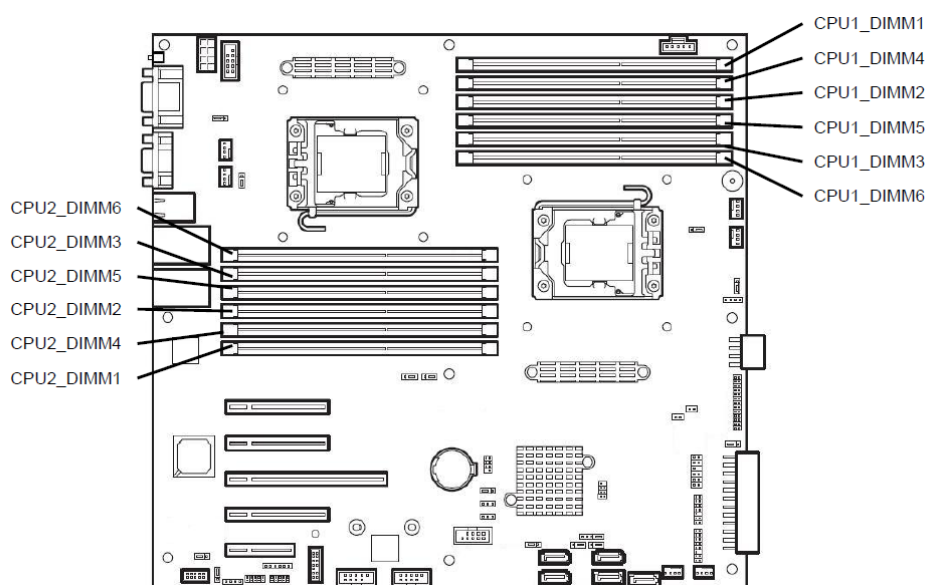
- (1) 危険防止及び故障防止のため、作業を行なう際には本体装置の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 2. 増設手順

- (1) 本製品の取り外しにはドライバ(+)が必要になる場合があります。あらかじめご用意されることをお勧めします。
- (2) サイドカバー、CPUダクトを取り外して下さい。  
(CPUダクトは、本体装置によって取り付けられていない場合があります)
- (3) 増設メモリボード実装位置の確認  
本体装置のユーザズガイドを参照し、マザーボード上のメモリ (DIMM) ソケットの位置を確認します。(下図参照)。



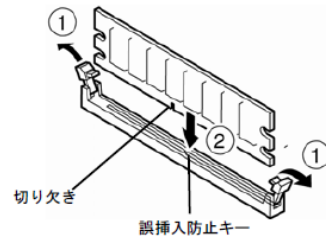
モデルT110d



モデルT120d

(4) メモリボードの実装手順

- a. メモリボードには誤挿入防止用の切り欠きがありますので、DIMMソケットの極性と切り欠きを同一方向に合わせます。
- b. DIMMソケットに対してメモリボードを垂直に立てて挿入するとレバーが自動的に閉じます。



- c. 同様の手順で残りのメモリボードを実装します。

**注意**

メモリボードは左右非対象の形状ですので、メモリボードとDIMMソケットの凹凸部分を確認し、正しく実装してください。

メモリボードが正しく固定されないと本体の故障の原因になりますので、特に注意してください。

## (5) メモリボードの増設順序

- ・メモリボードは次の順序で増設します。(下図参照)
- ・モデルまたは1CPU構成時と2CPU構成時でメモリの増設順序が違います。

下図に記載した順序で増設してください。

同容量で型番の異なるメモリボード (N8102-479/480) が混在する場合は、以下の優先順序でメモリスロット番号の小さい順に増設してください。

[4GB 増設メモリ] N8102-479 → N8102-590

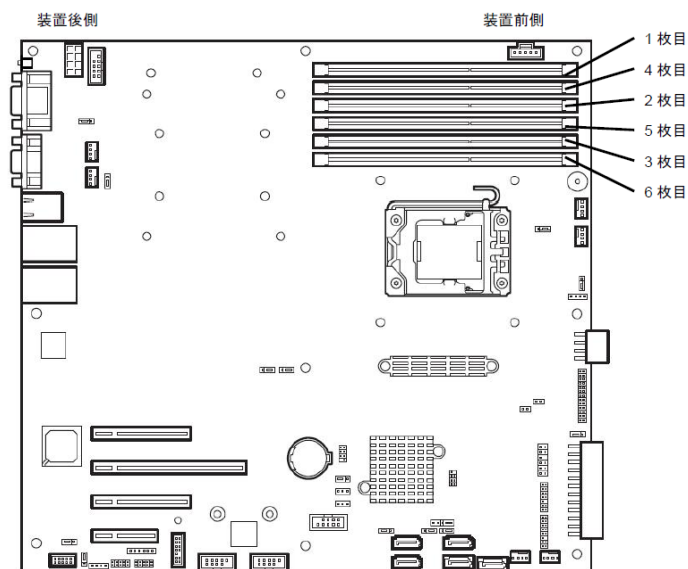
[8GB 増設メモリ] N8102-480 → N8102-594

従って、各種メモリボードの増設は、以下の優先順序で行ってください。

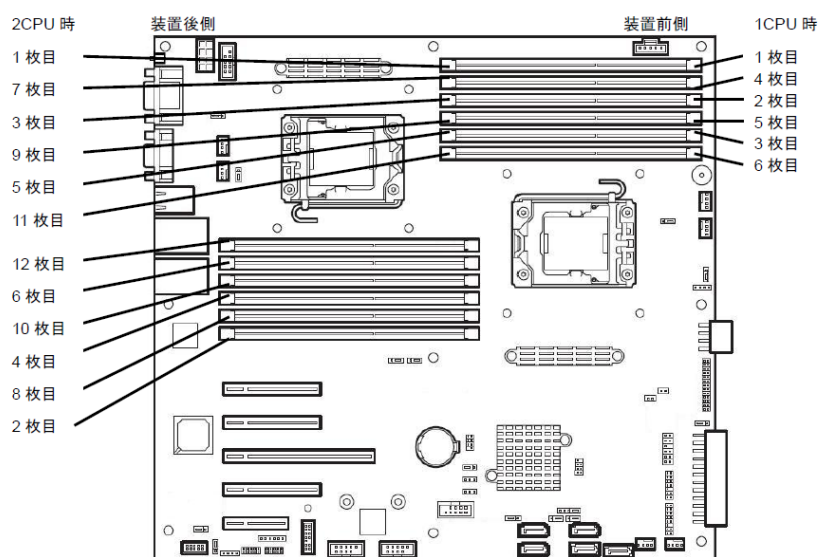
N8102-482 → N8102-481 → N8102-480 → N8102-594 → N8102-479 → N8102-590 → N8102-478



- N8102-483/484/485/486/487/595増設メモリボードとの混載はできません。
- CPU2を実装していない場合、CPU2\_DIMM 1~6は使用できません。



モデルT110d



モデルT120d

## (6) サイドカバー等の取り付け

前述(4)項の取り付け作業が終了したら、CPUダクト、サイドカバー等取り外した物を取り付けます。

※詳しくは本体装置に添付のEXPRESSBUILDERにあるユーザーズガイドを参照してください。

### 3. 増設後の確認

- (1) 本メモリボードを増設後、本体装置の画面が表示されない場合は、基本で実装されているメモリも含めて、再度すべてのメモリが正しく実装されているか確認してください。
- (2) POSTの画面でエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。
- (3) 本体装置の「SETUP」を立ち上げ、「Advanced」－「Memory Configuration」－「Memory Information」を選択し、増設または取り付け位置を変更したメモリのDIMMステータス表示にメモリ容量が表示されていることを確認してください。
- (4) メモリが認識されない場合は、本体装置の「SETUP」を立ち上げ、「Advanced」－「Memory Configuration」－「Memory Retest」で「Yes」を選択して、メモリのエラー情報をクリアしてください。  
「SETUP」の立ち上げ、選択方法等は、本体装置に添付のEXPRESSBUILDERにあるメンテナンスガイドを参照してください。

### 4. メモリ機能の利用

メモリRAS機能として「標準機能(x4 SDDC)」、「メモリミラーリング機能」、「メモリロックステップ機能(x8SDDC)」、および「メモリスペアリング機能」があります。

SDDC(Single Device Data Correction)はメモリエラー(複数ビット)を自動的に修正する機能です。



- x4 SDDC機能を利用する場合は、N8102-479/480/481/482/594 増設メモリボードを搭載する必要があります。
- 「標準機能(x4SDDC)」以外のメモリRAS機能を使用する場合には、本製品以外のN8102-483/484/485/486/487/595を使用してください。